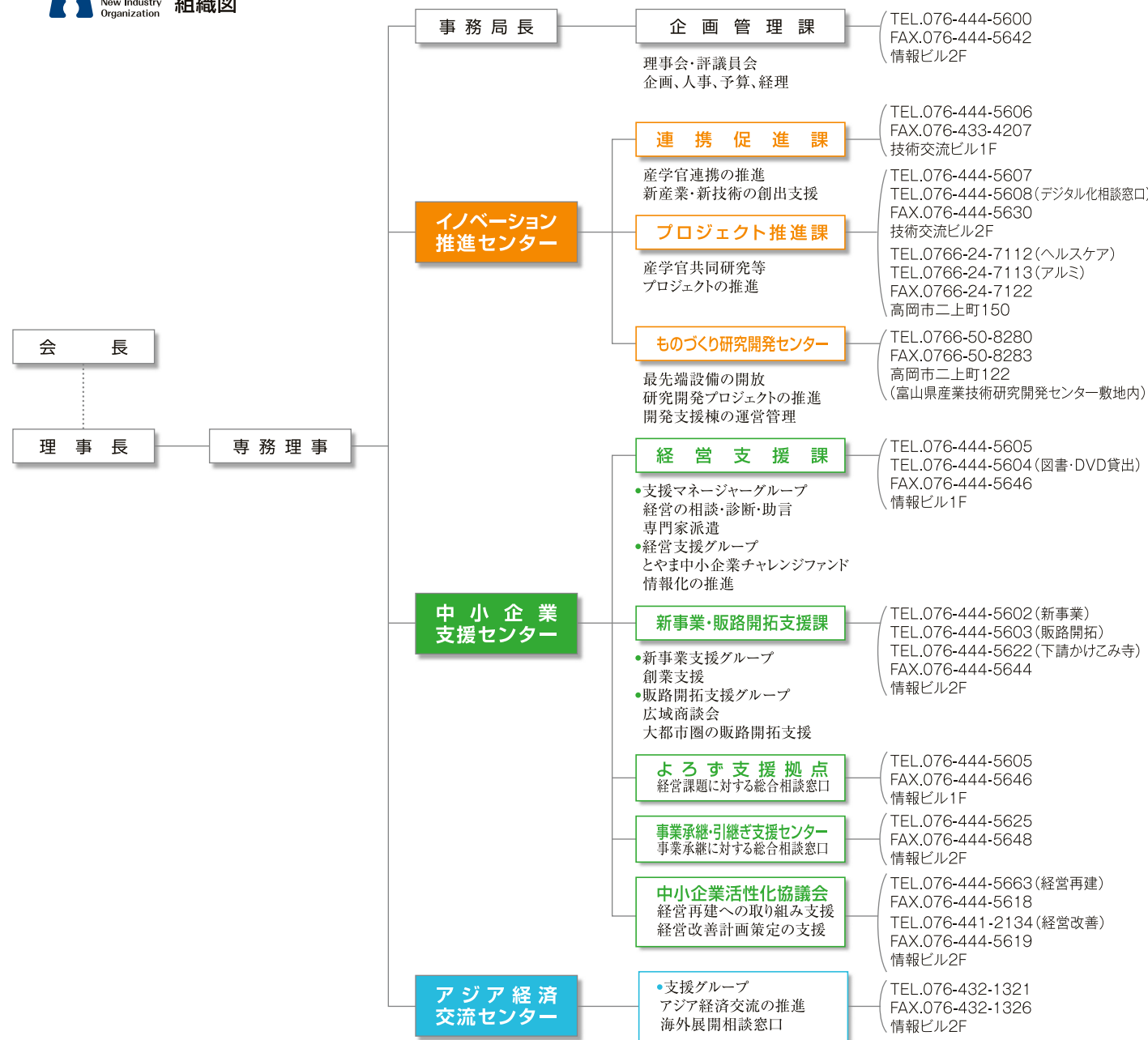




交通案内

- JR富山駅から市電で10分、トヨタモビリティ富山Gスクエア五福前(五福末広町)駅下車、徒歩10分
- JR富山駅よりバスで小杉・高岡方面行乗車、五福末広町にて下車、徒歩10分
- 北陸自動車道富山インターより車で約20分
- 北陸自動車道富山西インターより車で約15分
- 富山空港より車で約15分



(A) 拡大図



公益財団法人 富山県新世紀産業機構

【情報ビル】〒930-0866 富山市高田527番地
【技術交流ビル】〒930-0866 富山市高田529番地
URL: <https://www.tonio.or.jp/>



当機構HP



メルマガ登録



Facebook



X



Instagram

メルマガ登録募集中 登録無料

2025年3月発行

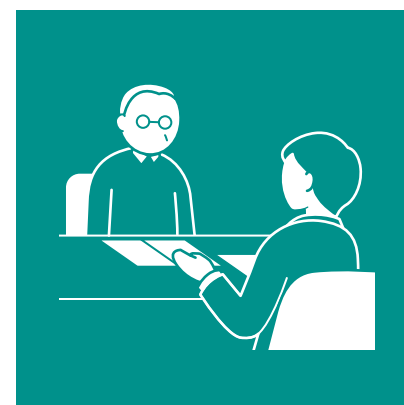
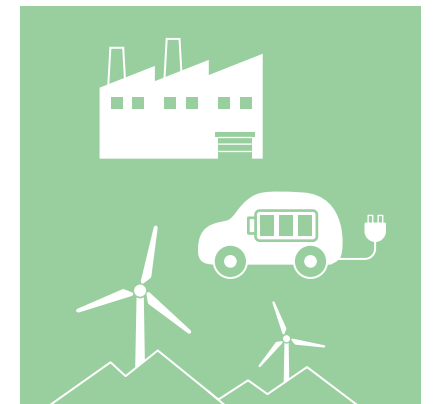
リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

富山の人、企業の元気を応援!

TONIO 2025

- [本年度実施支援施策一覧](#)
- [支援企業事例紹介](#)
- [機構全体組織案内](#)



公益財団法人 富山県新世紀産業機構

各支援策の詳細情報はHPでCHECK!



公益財団法人富山県新世紀産業機構は、創業・ベンチャー、経営革新、技術開発、販路・流通拡大等、企業経営や事業展開のなかで直面するさまざまな課題に対して、効果的な解決を図るためにワンストップで支援する総合支援機関です。

富山県や産業支援機関等と連携・協働を図りながら、新産業の育成・創出、企業経営の革新、アジア経済交流の推進等、活力ある地域経済の形成と富山県産業の躍進のために事業を展開してまいります。

とやまの企業の元気づくりをワンストップで支援します。



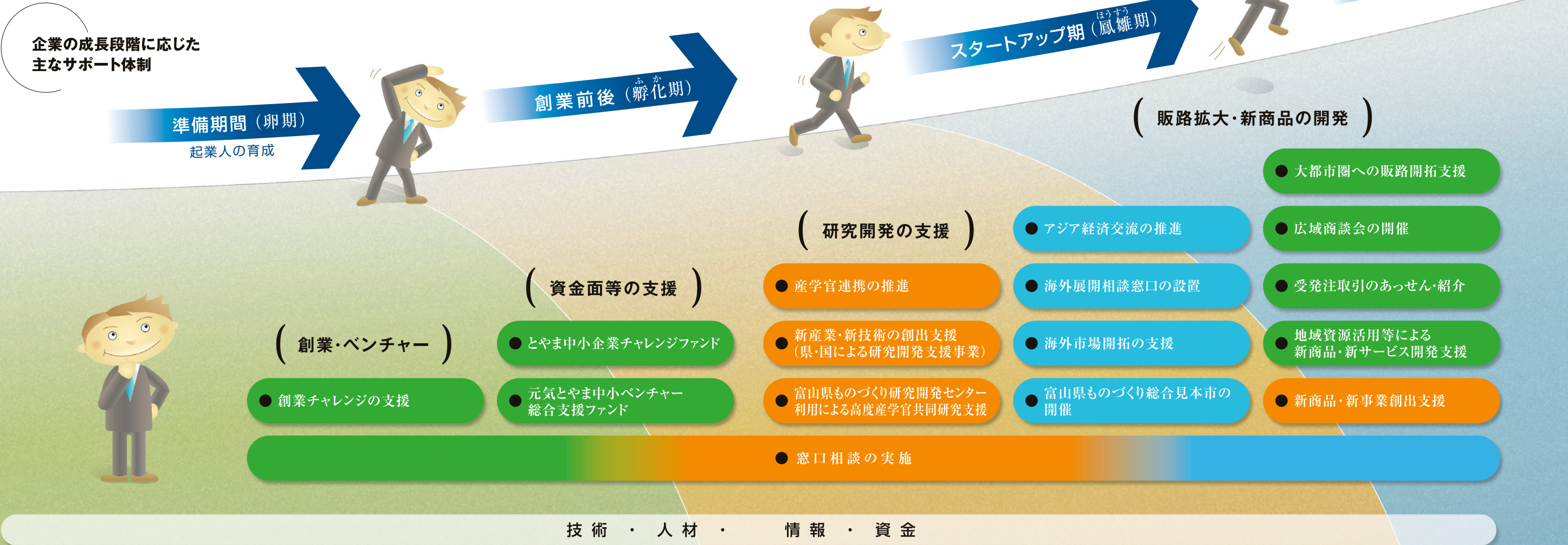
3センターによる実施体制 CONTENTS

- P.3 1. 起業家・ベンチャー企業等の支援
- 創業等への支援
 - 魅力的で地域活性化に貢献するビジネスの起業等への支援
 - 起業セミナーの開催
 - 元気とやま中小ベンチャー総合支援ファンド
- P.4 2. 経営の革新・活性化支援
- 専門家の派遣
 - よろず支援拠点の設置
 - 中小企業の収益力改善、事業再生支援
 - 事業承継・引継ぎ支援
 - 下請かけこみ寺の各種相談
 - 中小企業等の海外出願助成
- P.5 3. 地域資源を活用した事業支援
- 農商工連携を活用した事業支援
 - 小さな元気企業の応援

- P.5 3. 販路の開拓支援
- 受発注取引のあっせん・紹介
 - 商談会の実施
 - 販路開拓の挑戦支援
 - 大都市圏への販路開拓支援
- P.5 4. 情報化の支援
- 生成AI等デジタル初心者に対する支援
 - ホームページ(HP)・メルマガ・DVD・図書等による情報提供

- P.6 5. 産学官連携の推進
- 成長産業分野への取組み
 - サーキュラーエコノミーの推進
 - 企業におけるデジタル化の推進
 - アルミ産業成長力強化戦略の推進
 - ヘルスケア産業育成創出の推進
- P.7 6. 新産業・新技術の創出支援
- 産学官オープンイノベーションの推進
 - ものづくり研究開発支援
 - 成長型中小企業等研究開発支援
- P.8 7. 富山県ものづくり研究開発センター

- P.9 8. アジア経済交流の推進
- アジア地域の経済・貿易情報の収集・提供等
 - 各種セミナーの開催
- P.9 9. 海外展開相談窓口の設置
- アドバイザーによるコンサルティング
- P.10 10. 海外市場開拓の支援
- 海外の国際展示会への出展支援
 - 海外現地での販路開拓支援
 - 経済交流ミッションの派遣
 - 海外販路開拓商談会の開催
- P.10 11. 富山県ものづくり総合見本市の開催





Toyama New Industry Organization

中小企業支援センター

創業・ベンチャーへの挑戦を応援し企業の経営革新を支援

1. 起業家・ベンチャー企業等の支援

創業等への支援

魅力的で地域活性化に貢献するビジネスの起業等への支援

県内で新たに起業する者等から、社会性及び必要性・事業性・デジタル技術の活用が認められる事業計画を募集し、魅力的で地域活性化に貢献するビジネスの起業等に要する経費の一部を起業支援金で補助します。

また、富山県外から移住した方が起業支援事業に採択された場合は、最大で100万円の移住支援金が支給されます。

○起業支援金

助 成 率	1/2	
助 成 限 度 額	80万円(富山県外からの移住者の場合180万円)	中山間地域での創業の場合、20万円加算

○移住支援金

移住前の在住地	東京23区内	その他地域
金 額	世帯100万円 単身 60万円	世帯50万円 単身30万円
申 請 先	各市町村窓口	富山県新世紀産業機構

起業セミナーの開催

年1回、創業予定者、中小企業事業者を対象に起業セミナーを開催しています。



元気とやま中小ベンチャー総合支援ファンド

株式や社債の引き受けによる長期低利の資金提供を行います。



富山県創業支援センター／創業・移住促進住宅
SCOP TOYAMA(スコプトヤマ)

CASE
1

合同会社ポラリス

小幡 久美子代表

- ▶ P.3 創業等への支援
- ▶ P.4 よろず支援拠点の設置

障害児の通所支援事業で起業 保護者からの信頼厚く利用者も増

幼稚園教諭として20年近く働いた後に、放課後等デイサービスなどの障害児の通所支援事業に関心を持った小幡久美子代表。その事業計画を練っていた時、知人に勧められて「富山県よろず支援拠点」を訪問。アドバイスを求めたところ、コーディネーターから収支計画の作成方法について助言され、また福祉事業に詳しい税理士の意見も取り入れて事業計画書をまとめた。それを元に金融機関に融資の申請をすると、「金融機関では商圈調査や潜在需要調査などを行い、事業として可能性があるかと判断して融資してくれた」(小幡代表)そう。

「くじらぐも」と名づけられた施設がオープンしたのは、令和3年4月1日のこと。「ワクワクチャレンジ創業支援事業」の採択を受けて、ホームページを制作し、また絵本や遊具の充実を図った。そして3年後には「となりのくじらぐも」を増設。障害児を持つ保護者からは厚い信頼が寄せられ、利用する児童数は倍近くに増えているという。



▲「くじらぐも」(右側の平屋)と「となりのくじらぐも」(左側の2階建て。令和6年4月から運用)の外観。午前中は主に未就学児を対象とした「児童発達支援」、午後は小・中学生を対象とした放課後等デイサービスの場として活用している。



▲利用されている児童らの様子。天候のよい日には、子どもたちは庭に出て遊ぶことが多い。庭の片隅には畑があり、秋にはさつまいも掘りなどを楽しむ。

▼(合)ポラリス代表の小幡久美子さん。法人名は旅人を導いてきた北極星に由来。障害児の道しるべになりたいという思いの表れか。



2. 経営の革新・活性化支援

専門家の派遣

高度で専門的な課題に対して、経営、技術、情報化など多様な分野の専門家を派遣し、確かな診断と助言を行います。

◎派遣費用／1回あたり3万円及び専門家の旅費(事業主1/3負担)

よろず支援拠点の設置

富山県よろず支援拠点では、各分野の専門家であるコーディネーターが、事業者の相談に応じ、経営課題を分析、課題解決に向けた総合的・先進的経営アドバイスを行います。また、各支援機関との連携、課題ごとの適切なチーム支援など、環境の変化や事業の成長段階に応じた支援を継続的にを行います。

総合相談窓口 (ワンストップサービス)

コーディネーター
・中小企業診断士
・税理士
・ITコーディネータ 等

中小企業の収益力改善、事業再生支援

富山県中小企業活性化協議会は、金融機関・民間専門家等と連携し、中小企業の収益力改善支援、事業再生支援及び再チャレンジ支援を行う、いわば財政的安定をサポートする地域総合病院です。財務内容で、症状の重い方、軽い方から健康診断まで、豊富な専門知識と経験を持った常駐スタッフが幅広く対応します。また、国が認定する土業

等専門家(認定経営革新等支援機関)の支援を受けて経営改善計画等を策定する場合、専門家に対する支払費用の一部を協議会が負担します。

事業承継・引継ぎ支援

富山県事業承継・引継ぎ支援センターは、国が設置する公的相談窓口です。親族内や従業員への承継も、第三者への引継ぎも、中小企業の事業承継に関するあらゆるご相談に、豊富な専門知識と経験を持った常駐スタッフが幅広く対応します。また、「富山県事業承継ネットワーク」を組織し、県内の商工団体、金融機関、土業等専門家の民間支援機関や、国、県、市町村等の公的支援機関が連携し、切れ目のない支援を実施する体制を構築しています。

下請かけこみ寺の各種相談

中小企業からの取引に関する様々な悩み、相談に親身になって対応します。また、紛争解決の迅速・簡便な手段としてADR手続きを行います。

中小企業等の海外出願助成

県内の中小企業等が海外へ特許等を出願する場合、その出願経費の一部を助成します。

	助 成 率
特 許 出 願	1/2以内(上限150万円)
商標・実用新案・意匠登録出願	1/2以内(上限 60万円)
冒認対策商標出願	1/2以内(上限 30万円)

■ 地域資源を活用した事業支援
(とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)が富山県の指定する地域資源(産地の技術や農林水産、観光資源)を活用した新商品・新サービスの開発やそれに伴って行う販路開拓事業に対し助成します。

助 成 率	1/2
助 成 期 間	最長2箇年度
助 成 限 度 額	300万円

※ただし、工具器具・備品費の助成額は100万円以内。

■ 農商工連携を活用した事業支援
(とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者またはNPO等と農林漁業者が連携し、双方の経営資源を活用した新商品・新サービスの開発やそれに伴う販路開拓事業に対し助成します。

助 成 率	2/3
助 成 期 間	最長2箇年度
助 成 限 度 額	200万円

※ただし、工具器具・備品費の助成額は100万円以内。

■ 小さな元気企業の応援
(とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内小規模企業者(グループ含む)の商品開発や販路開拓等の取組みに対し助成します。

助 成 率	1/2
助 成 期 間	最長2箇年度
助 成 限 度 額	50万円 (県外の販路開拓経費については、25万円※)

※ただし、首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)の展示会等に出展する場合は35万円。
※工具器具・備品費の助成額は25万円以内。



3. 販 路 の 開 拓 支 援

■ 受発注取引のあっせん・紹介

県内中小企業の受注機会を増やすため、県内外企業の発注情報の収集・提供をしています。

■ 商談会の実施

東京・大阪・富山県ものづくり総合見本市2025で広域商談会を開催します。

■ 販路開拓の挑戦支援
(とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の展示会や見本市への出展、海外の市場調査・広報に関する活動等の販路開拓事業に対し助成します。

	県外市場開拓	国外市場開拓
助 成 率	1/3	1/3
助 成 期 間	最長2箇年度	最長2箇年度
助成限度額	25万円	50万円

※ただし、首都圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)の展示会等に出展する場合は35万円。
県外分及び国外分の両方で事業を実施する場合の上限額は50万円。

■ 大都市圏への販路開拓支援

大都市圏の企業へ自社製品を売り込みたい県内中小企業に対して、大手商社OBのマネージャーが販路開拓を支援します。

4. 情 報 化 の 支 援

■ 生成AI等デジタル初心者に対する支援

生成AI等デジタルツールやDXに関する初心者向けの講座を開催します。

■ ホームページ(HP)・メルマガ・DVD・図書等による情報提供

ホームページ(HP)、メルマガやSNS(X、Facebook等)において、中小企業者に役立つ助成金やセミナーなどの情報を配信しています。

また、機構内には経営関連の図書や雑誌・新聞等の資料、社員教育・繁盛店情報など企業に役立つDVD等を多数取り揃えております。DVDや図書等は自由に閲覧・視聴でき、無料貸し出しサービスも行っています。



図書ライブラリ



Toyama New Industry Organization

イノベーション推進センター

産学官の連携とイノベーションの推進による
富山ならではの新産業の育成・創出

5. 産 学 官 連 携 の 推 進

■ 成長産業分野への取組み

「グリーン(再生可能エネルギー、資源循環等)」、「モビリティ(次世代自動車等)」、「デジタル技術基盤(ロボット等)」の成長産業分野への県内ものづくり関連企業の取組みを進めるため、技術セミナー、少人数での研修や先進地視察等の研究会活動で最新の情報提供や情報交換の場を提供し、ネットワーク形成を図ります。

■ サーキュラーエコノミーの推進

サーキュラーエコノミー(循環経済)を推進するため、異業種連携による新たな価値創出に向けたカンファレンスを開催し、情報発信を行っています。



■ 企業におけるデジタル化の推進

IoT等、デジタル技術の初期導入に関する相談窓口を設け、総合的な対応を行います。DX総合アドバイザーが企業での出前講座などを通して、県内企業のデジタル化推進のための課題解決に向けた提案から実証試験までを伴走支援します。

■ アルミ産業成長力強化戦略の推進

アルミ産業の振興に向けて、アルミのグリーン化に関する産学官連携研究開発への支援や研究会活動、県内外学生のインターンシップ等の人材育成を行っています。

■ ヘルスケア産業育成創出の推進

健康・医療・介護等に係わるヘルスケアに関する研究会を設置し、セミナー開催、コーディネーターによるマッチング活動、ヘルスケア製品開発、展示会出展等の支援をします。



デジタルハブ
(技術交流ビル1階)

6. 新産業・新技術の創出支援

産学官オープンイノベーションの推進

グリーン、モビリティ、デジタル技術基盤等の成長産業分野において、産学官グループから研究開発テーマを公募し、新商品・新技術創出に結びつく研究開発を支援します。

〔重点支援分野〕
再生可能エネルギー、水素・アンモニア、蓄電池、
カーボンリサイクル・マテリアル、資源循環、次世代自動車

	複数企業枠	単独企業枠	サーキュラーエコノミー推進枠
助成率	2/3*		
助成期間	最長3箇年度		最長2箇年度
助成限度額	1,000万円／年	500万円／年	

※ただし、県内の大学・公設試等との共同研究開発経費は10/10。

〔成長産業分野全体〕

助成率	2/3*	
助成期間	最長2箇年度	
助成限度額	300万円／年	

※ただし、県内の大学・公設試等との共同研究開発経費は10/10。

ものづくり研究開発支援
(とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者(グループ含む)の新商品・新技術の研究開発等による競争力強化の取り組みに対し助成します。

助成率	1/2
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	200万円

※ただし、工具器具・備品費の助成額は100万円以内。

成長型中小企業等研究開発支援

特定ものづくり基盤技術の高度化に資する研究開発について、中小企業等及び地域の大学等との研究機関等が連携して行う取り組みを支援する事業*に関し事業管理機関として支援します。
※本事業は経済産業省が実施する事業です。

助成率	(1)中小企業等:2/3以内 (2)大学・公設試等:定額
助成期間	2年度又は3年度
助成限度額	通常枠:単年度あたり4,500万円以下 2年間合計で7,500万円以下 3年間合計で9,750万円以下

7. 富山県ものづくり研究開発センター

富山県ものづくり研究開発センターの概要

センターは富山県産業技術研究開発センターと新世紀産業機構が共同で運営しています。
10m法の電波暗室、最先端設備等設置スペースであるデジタルものづくりラボ、高機能素材ラボ、CNF製品実証試作ラボ、製品機能・環境負荷評価ラボ、オープンイノベーション・ハブと、研究開発スペースである開発支援棟で構成されています。

最先端設備の開放

- 企業や大学に広く開放します。
- 最先端設備は利用者自らが操作することができます。また基本操作や高度に利用するための技術講習を行います。

研究開発プロジェクトの推進

- 開発支援棟の企業スペースやプロジェクトスペースを活用した研究開発を推進します。
- 異分野融合による技術シーズを創出し、研究開発プロジェクトに繋げる研究会を実施します。

実践的なものづくり人材の育成

- 実践的で高度な知識を有する人材育成のため、長期インターンシップの受け入れや、人材育成講習会を実施します。
- 共同研究方式による企業の若手技術者の育成に取り組みます。

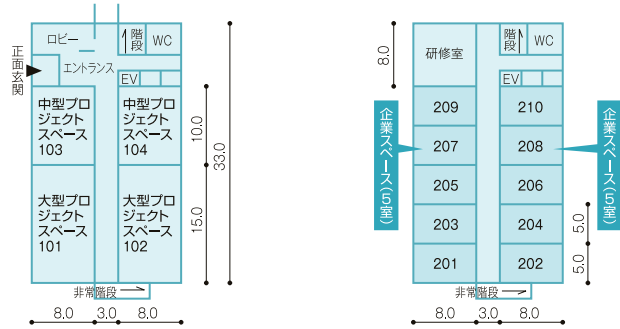
異分野・異業種交流の促進

- 異業種交流セミナーや研究会を開催します。
- 知的所有権センターとの連携により、個別企業の知的財産の一層の活用を図ります。

開発支援棟の研究スペース

カードキーシステムにより入居者は24時間利用できます。

[1階]				[2階]			
プロジェクトスペース				企業スペース			
使用料金	80㎡(2室)	月額	184,300円	使用料金	40㎡(10室)	月額	92,100円
	120㎡(2室)	月額	276,500円				

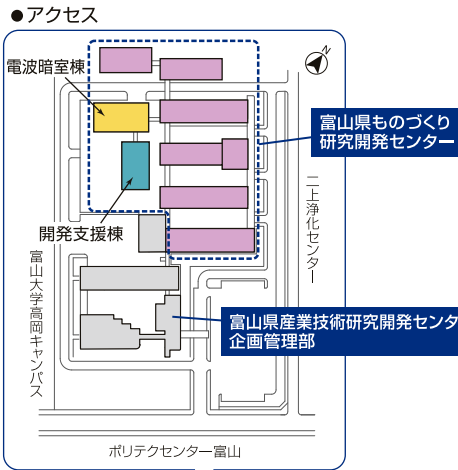


交通アクセス

- 車の場合
 - 新高岡駅から約20分、高岡駅から約15分
 - 能越自動車道 高岡北インターから約10分
- バスの場合
 - 新高岡駅前発 加越能バス「城光寺運動公園(富大高岡)」、乗車約30分「富大高岡キャンパス」下車 徒歩3分
 - 高岡駅前発 加越能バス「城光寺運動公園(富大高岡)」、乗車約15分「富大高岡キャンパス」下車 徒歩3分
- 路面電車の場合
 - 高岡駅発 万葉線、乗車約20分「米島口」下車 徒歩約20分



電波暗室(10m法、小型)／外部からの電磁波の影響を受けず、また、外部機器に影響を与えない電氣的に隔離された部屋。



高岡市二上町122
(富山県産業技術研究開発センター敷地内)
TEL.0766-50-8280 FAX.0766-50-8283

CASE 2

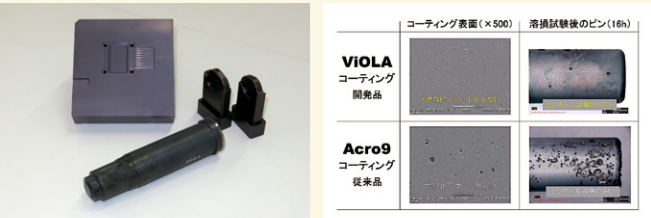
株式会社北熱 パイロット事業部 嶋村 公二 部長

- ▶ P.5 ●販路開拓の挑戦支援(とやま中小企業チャレンジファンド事業)
- ▶ P.7 ●産学官オープンイノベーションの推進

産学官連携で金型の長寿命化にチャレンジ
自動車メーカーに採用され、海外展開も...

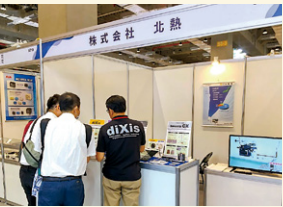
ものづくりの業界では、合理化がますます求められ、金型のさらなる長寿命化のニーズが高まっている。金型の熱処理等を行っている(株)北熱では、それにえようと「産学官オープンイノベーション推進事業」(令和2~3年度)の採択を受けて、「アルミダイカスト成形用金型の寿命向上を実現する高機能複合表面処理の開発」にチャレンジ。金型のヒートチェック(クラック)の発生や、溶損・浸食による変形については窒化処理の高度化、コーティング膜の耐熱化・厚膜化・複合積層化により抑制できるようになったが、離型剤の均一な塗布法については不案内であった。「そこで今回は、ウェットブラスト法に詳しい富山県立大学の先生の協力を得て、金型表面に均一に微細加工をする手法を開発しました。そこに離型剤をとどまらせると、金型が抜けやすくなるのです」(嶋村部長)

同社ではこれらの成果を生かして、厚膜タイプのPVDコーティング「ViOLA」(ヴィオラ)を商品化。金型の寿命を3倍長持ちさせ、自動車メーカーでの採用も決まった。



▲同社でコーティング処理された金型の一例。

▲今回の長寿命化で開発・商品化した「VIOLA」と従来の厚膜コーティング(Acro9)の溶損の比較。「VIOLA」は従来比で1.66倍、進化系の「VIOLA-R」は3倍の寿命になった。



▲「とやま中小企業チャレンジファンド事業 販路開拓挑戦応援事業」(令和5~6年度)の支援を受けて、台湾の展示会に出展した様子。



▶ 同社の技術開発部門であるパイロット事業部を率いる嶋村公二部長。



アジア経済交流センター

アジアをはじめ世界に羽ばたく企業を支援

8. アジア経済交流の推進

アジア地域の経済・貿易情報の収集・提供等

アジア地域における貿易・投資等の経済活動を促進するため、当該地域の情報を収集し、刊行物やウェブサイト等を通じて提供します。

<https://www.near21.jp/>



ホームページでも公開

各種セミナーの開催

県内企業向けに、外部から専門家をお招きして海外情勢や、販路拡大に役立つ情報についてのセミナーを開催しています。セミナー講師の派遣も実施しています。



9. 海外展開相談窓口の設置

アドバイザーによるコンサルティング

海外経験が豊富なアドバイザーを配置し「富山県海外ビジネスサポートデスク」と連携を取りながら、アジア地域を中心とする海外販路開拓や海外進出に挑む県内企業の皆様のご相談に応じバックアップします。(事前予約制・無料)

貿易投資 アドバイザー	中 国	藤野 文 悟
	東南アジア	鎌田 慶 昭
	ロ シ ア	森岡 裕
	東南アジア	宮本 敏和
	中 国	中島 宏治

富山県海外ビジネスサポートデスク

- 富山県バンコクビジネスサポートデスク(北陸銀行バンコク駐在員事務所内)
23rd Floor Unit 2314, Bhiraj Tower at EmQuatier, 689 Sukhumvit Road, North Klongton, Wattana, Bangkok 10110, Thailand
- 富山県台北ビジネスサポートデスク(ジェック経営コンサルタント台北事務所内)
台北市信義區信義路五段5號4樓4B14室
- 富山県ホーチミンビジネスサポートデスク(北陸銀行ホーチミン駐在員事務所内)
Suite 1709, 17th Floor, Saigon Tower, 29 Le Duan Street, Ben Nghe Ward, District 1, Ho Chi Minh City, Vietnam
- 富山県インド経済デスク(ジェトロ富山事務所内)(令和7年春開設予定)
富山県富山市総曲輪2丁目1-3 富山商工会議所ビル5階

10. 海外市場開拓の支援

海外の国際展示会への出展支援

海外の展示会への出展支援を行い、県内企業の海外販路開拓をサポートします。展示会に参加することで、新規取引先の開拓だけでなく、自社製品の現地での反応を確認することができます。



海外現地での販路開拓支援

海外現地のスーパーでのテストマーケティングや商談会等を実施しています。

経済交流ミッションの派遣

経済・物流の動向や、投資環境を探るためミッション団を派遣します。現地政府機関や企業を訪問し、販路の拡大を図ります。

海外販路開拓商談会の開催

海外に商流をもつバイヤーを招へいた商談会を開催し、県内企業の商品・技術を広くアピールします。



11. 富山県ものづくり総合見本市の開催

国内外のものづくり技術や製品を幅広く展示し、経済・ビジネス交流の拡大を図るため、富山県や産業団体と協力して、富山県ものづくり総合見本市を隔年開催しています。

開催概要

名 称	T-Messe 2025 富山県ものづくり総合見本市
会 期	2025年10月30日(木)～11月1日(土)
会 場	富山産業展示館(テクノホール)
主 催	富山県ものづくり総合見本市実行委員会
対 象 分 野	工作・産業機械、自動車関連、精密機械、電子・電機、 鋳造・金型、金属加工品、プラスチック、アルミ 等
関 連 事 業	基調講演、国内・海外バイヤーとの商談会、 海外ビジネスセミナー、次世代技術の展示等

CASE
3

有限会社中村海産 中村 康紀社長

みりん干し専門店の試み 海外の市場へ、そして宇宙へ

みりん干しの製造過程で生じる規格外品(欠けたりしているもの)は、かつては捨てられていた。それを中村康紀社長が「もったいない」と思ったことから商品化を模索。粉碎してふりかけに活用したり、ペースト状にしたものを生地にはりこんでチーズケーキにしたりと試行錯誤を繰り返し、商品化にこぎつけた。その一方で、HACCP(食品の安全を確保するための衛生管理の手法)の認証を取得して、みりん干しの海外展開に着手。「海外販路開拓商談会」「とやま食材レストランコラボフェアinジャカルタ」に参加し、海外バイヤーとの商談を繰り返す中でその糸口をつかみ、輸出先をさらに増やそうと奮闘しているところだ。

「HACCPはもともと、宇宙飛行士の食の安全性を確保するために考案された手法です。せっかく認証を取得したので、宇宙飛行士には当社のみりん干しの加工品を食べていただきたい」と中村社長は壮大な夢を語った。

- ▶ P.4 ● 専門家の派遣
- ▶ P.5 ● 地域資源を活用した事業支援
- ▶ P.10 ● 海外販路開拓商談会の開催
- 海外現地での販路開拓支援



▲シチリア料理をつくる料理人の協力の下で商品化されたチーズケーキ「UOGASHI」(ウオガシ)。みりん干しをペースト状にしたものが練りこまれているが、魚の生臭さはない。



▲同社のみりん干しの盛り付け例。



◀関西や東日本を中心にみりん干しの販売を展開する同社の中村社長。「全国制覇の次は世界です」と宣言してみりん干しの輸出を計画している。



▲ジャカルタのレストランで、約1か月間、みりん干しのメニューが提供された際に、現地のバイヤーとの商談が行われた。七輪でみりん干しを炙って、バイヤーには試食していた。